

平成 28 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における南港北中学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成 28 年 4 月から 7 月末までの期間に、2 年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。学校の現状や取組の参考にしていただきたいと思います。

1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- （１）子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- （２）各教育委員会、各国公立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- （３）各国公立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第 2 学年、中等教育学校第 2 学年、特別支援学校中学部第 2 学年の原則として全生徒
- ・南港北中学校では、2 年生 92 名

3 調査内容

- ・生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下、「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）
中学校調査では、以下の種目を実施する。

〔8 種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ハンドボール投げ（※持久走か 20m シャトルランのどちらかを選択）

イ 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「生徒質問紙調査」という。）を実施する。

平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

大阪市立南港北中学校

生徒数

85

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	26.44	28.26	45.11	55.74		91.93	7.88	190.61	21.85	44.07
大阪市	29.29	27.51	40.96	51.76	411.55	83.43	8.09	191.49	20.42	41.25
全国	28.91	27.46	43.06	51.93	391.72	86.24	8.03	194.69	20.59	42.13
女子	22.18	23.21	49.62	50.44		67.73	8.28	169.41	15.00	53.70
大阪市	24.15	23.41	44.39	46.77	303.34	57.97	8.92	167.47	12.97	49.20
全国	23.75	23.48	45.46	46.60	288.51	58.80	8.83	168.28	12.85	49.56

結果の概要

男子は握力・立ち幅とび以外の6種目で全国平均を上回った。総合評価については、男子はA段階が4.5%と全国平均より3.3%低い。B・C段階が81.9%と全国より17.9%高い。D・Eの段階の割合が全国より14.3%少ない。

女子は握力・上体起こし以外の6種目で全国平均を上回った。総合評価については、A段階は51.4%と全国平均より22.5%高い。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

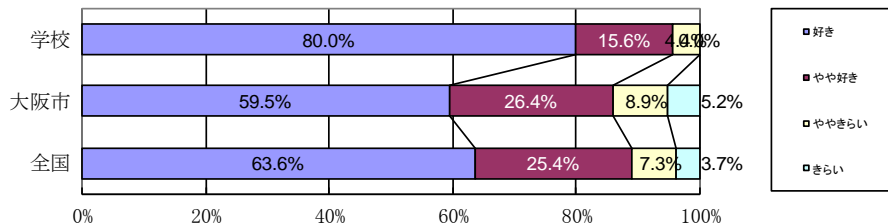
・体育の授業において準備体操、ラジオ体操、補強、柔軟、ストレッチ運動を取り入れ確実に実施し、3学期には持久走に力を入れ全身持久力向上を図ってきた。特に補強運動では、腹筋、背筋、腕立て伏せ、馬跳び等、生徒の体力に応じて強度(回数)を設定して基礎体力の向上を図った。今後もこの取組みを続けていくとともに筋力、瞬発力に課題が見られるため準備運動をはじめ様々な場面において、それらを意識した運動を取り入れていきたい。

・「運動をすることは好きですか」の質問に「好き」と回答した生徒は、男子80%(全国63.6%)女子84.2%(46.9%)「保健体育の授業は楽しいですか」の質問に楽しいと回答した生徒は男子58.7%(50.2%)女子64.1%(38.8%)と良好な数字を示している。今後も生徒の意識が向上するよう努めていきたい。

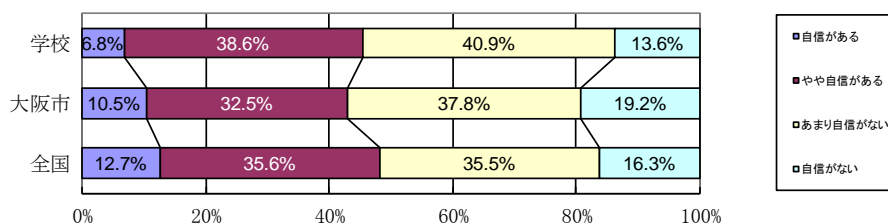
運動やスポーツについて（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

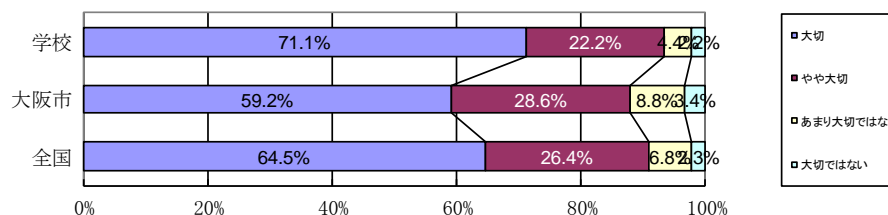
1
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



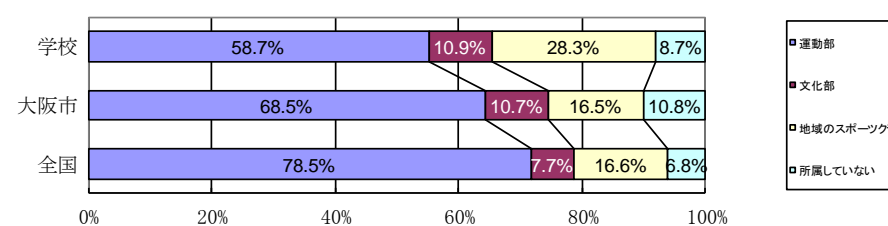
2
自分の体力に自信がありますか



3
あなたにとって運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツは大切ですか



10
学校の運動部や地域のスポーツクラブに所属していますか。当てはまるもの全て選んでください。



成果と課題

「運動が好き」と肯定的に回答した生徒の割合が95.6%で全国平均を上回っており、「運動やスポーツは大切だ」と考えている生徒も93.3%と全国平均よりも高い意識を持っている。しかし学校運動部や地域スポーツに所属している生徒の割合が8.7%で全国平均よりも低く改善していきたい。

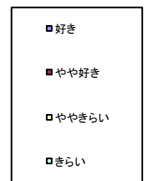
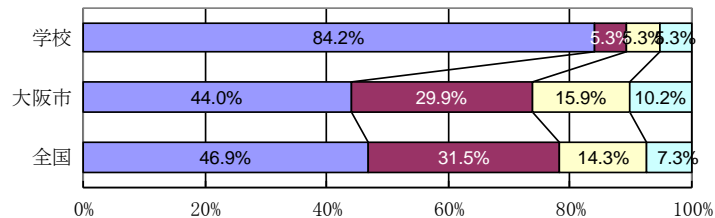
今後の取組

運動、スポーツが苦手な生徒に対しても生徒間で支援をしあいながら、個々の目標を達成し、上達していく喜びを感じられるよう工夫していきたい。

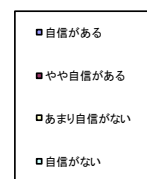
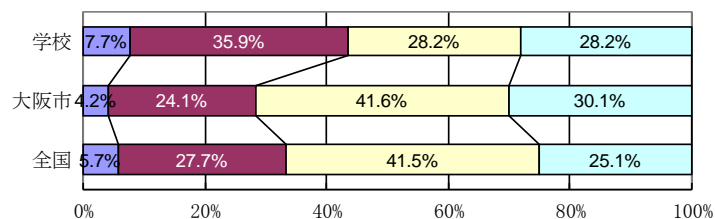
運動やスポーツについて（女子）

質問番号	質問事項
------	------

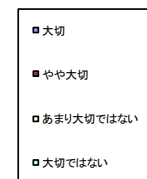
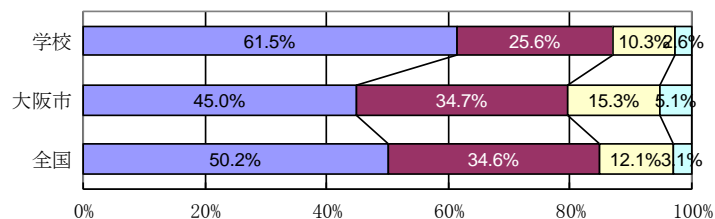
1
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



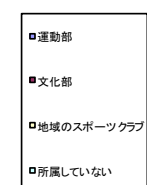
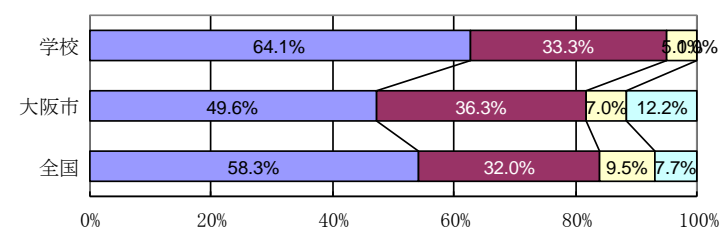
2
自分の体力に自信がありますか



3
あなたにとって運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツは大切ですか



10
学校の運動部や地域のスポーツクラブに所属していますか。当てはまるもの全て選んでください。



成果と課題

「運動やスポーツをすることは好きだ」と回答した生徒の割合が84.2%（全国46.9%）、「体力に自信がある」と回答した生徒の割合が7.7%（全国平均5.7%）、「やや自信がある」と回答した生徒の割合が35.9%（全国平均27.7%）、「運動やスポーツは大切だと感じている」生徒が61.5%（全国平均50.2%）と、どの項目も全国平均を上回っていた。また、学校の部活動に所属する生徒が運動部・文化部合わせて97.4%で全国平均（90.3%）を上回っている。引き続き、体を動かすことの楽しさをより多く伝えていき、運動に親しむ習慣をつけていくようにする。

今後の取組

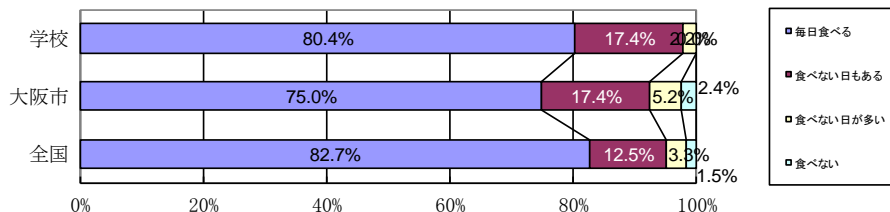
生徒が前向きに運動やスポーツに取り組めるよう、教材研究を進めていきたい。

ふだんの生活について（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

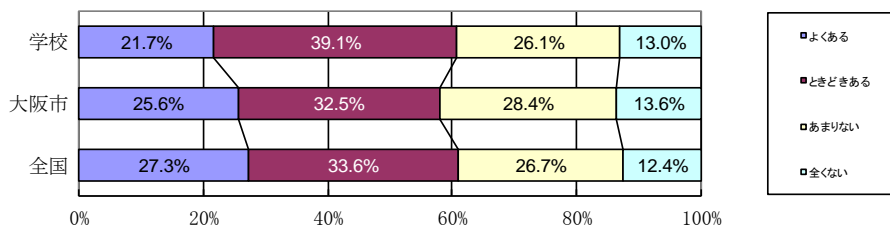
6

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



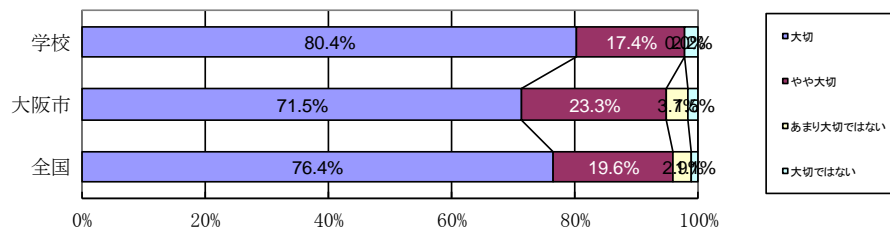
12

家の人から運動やスポーツを積極的に行うことを勧められることがありますか



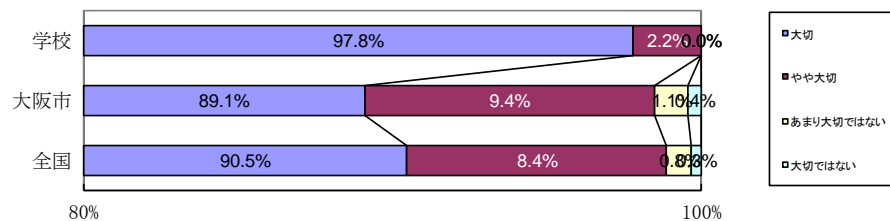
13

あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



14

あなたが健康でいるために食事をしっかり取ることはどのくらい大切だと考えていますか。



成果と課題

「朝食を毎日食べる」と回答した生徒が97.8%で全国平均(95.2%)を上回り、「健康でいるために食事をしっかりとることが大切だ」と回答した生徒は100%であった。食事の重要性は理解しているので、毎日朝食を食べる割合が100%になるよう、家庭の協力を得ながら改善していきたい。

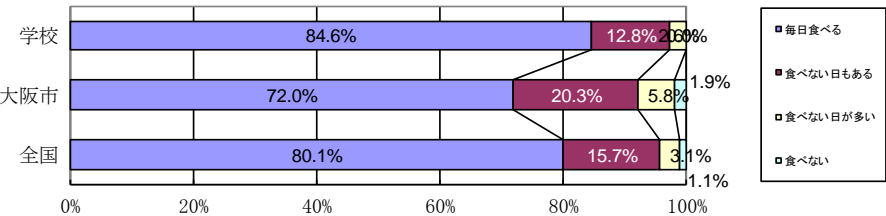
今後の取組

健康でいるために、食事だけでなく、運動の重要性も理解させ、実践させていきたい。

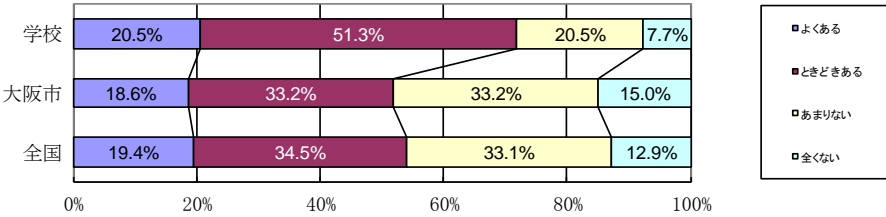
ふだんの生活について（女子）

質問番号	質問事項
------	------

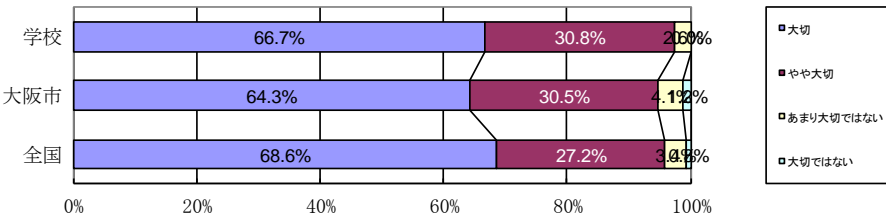
6
朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



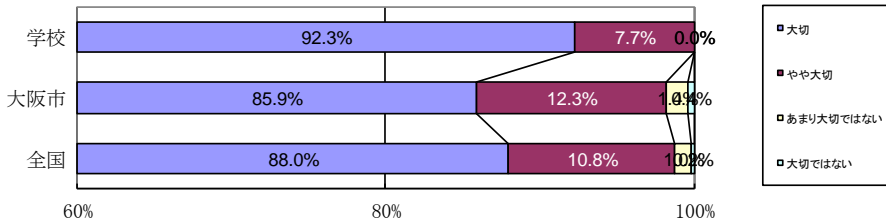
12
家の人から運動やスポーツを積極的にを行うことを勧められることがありますか



13
あなたが健康でいるために運動を行うことはどのくらい大切だと考えていますか。



14
あなたが健康でいるために食事をしっかり取ることはどのくらい大切だと考えていますか。



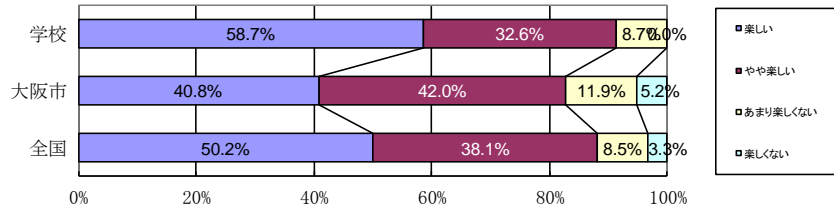
成果と課題
<p>「健康でいるために運動を行うことが大切だ」と回答した生徒は66.7%で、全国平均（68.6%）を下回った。現在の運動が将来にもつながることをイメージさせながら、健康と運動の関係についてより深く理解させていく。また、「健康でいるために食事をしっかりとることが大切だ」と回答した生徒は92.3%と、食事の重要性は理解しているので、毎日朝食を食べる割合が100%になるよう、家庭の協力を得ながら改善していきたい。</p>

今後の取組
<p>健康でいるために、食事だけではなく運動を行うことも必要だということを、しっかり理解させ実践させていきたい。</p>

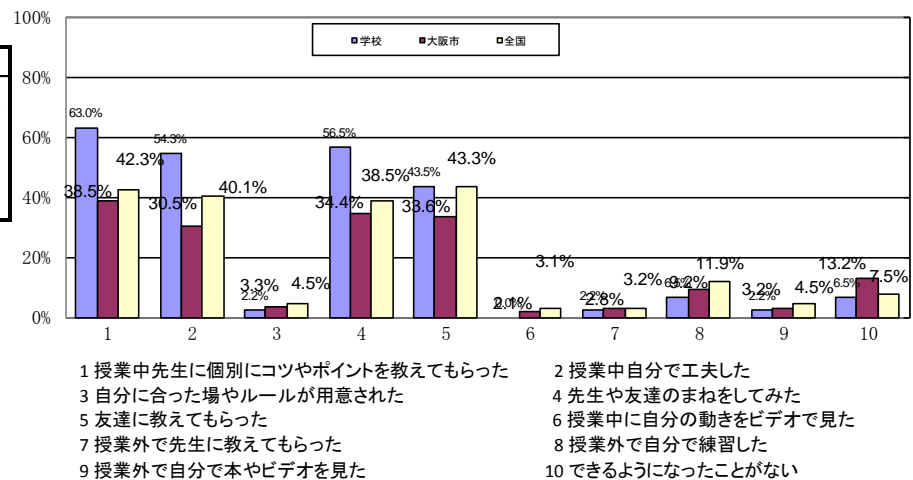
保健体育の授業について（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

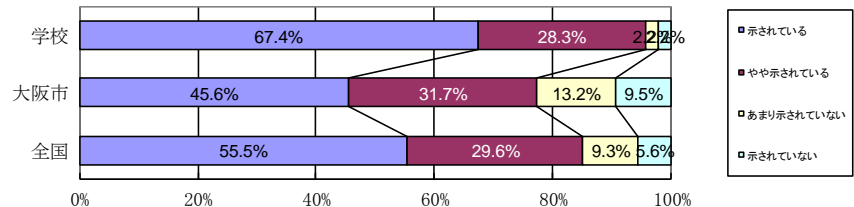
16
保健体育の授業は楽しいですか



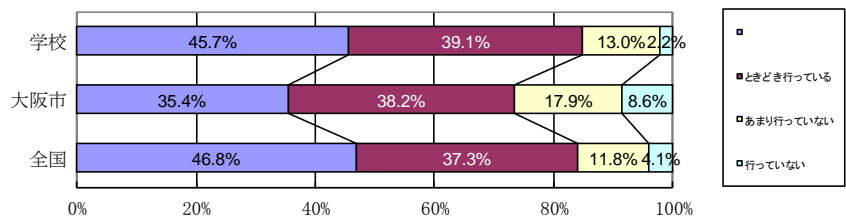
21
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



17
ふだんの保健体育の授業では、授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）が示されていますか。



19
ふだんの保健体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。



成果と課題

保健体育の授業を「楽しい」と肯定的に回答した生徒の割合が58.7%と全国平均50.2%を上回っており、「楽しくない」と回答した生徒は0%である。できなかったことができるようになったきっかけとしては、「先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」が63%で全国平均42.3%を大きく上回っている。授業の目標が示されているかについては、95.7%で全国85.1%を上回っている。

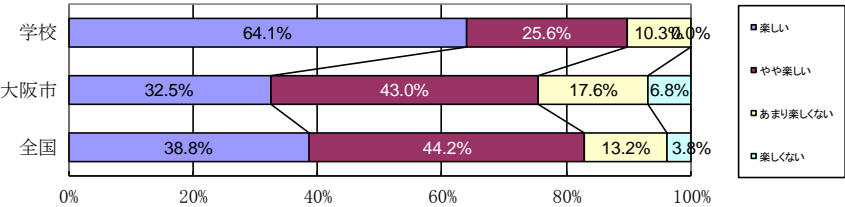
今後の取組

できなかったことができるようになっていくことが、楽しく一生懸命に取り組む姿勢へとつながっていくので、今後とも一人ひとりにきめ細かくアドバイスをしていくように取り組んでいきたい。

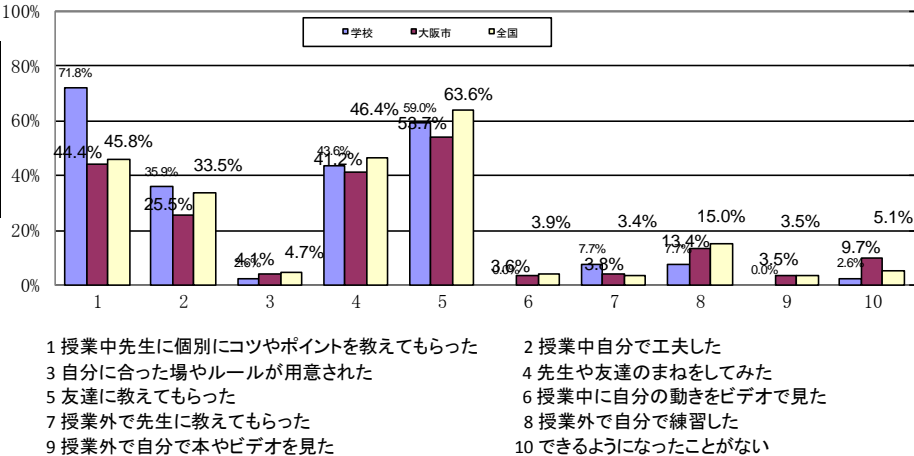
保健体育の授業について（女子）

質問 番号	質問事項
----------	------

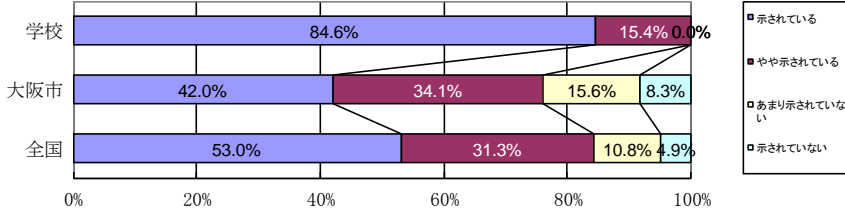
16
保健体育の授業は楽しいですか



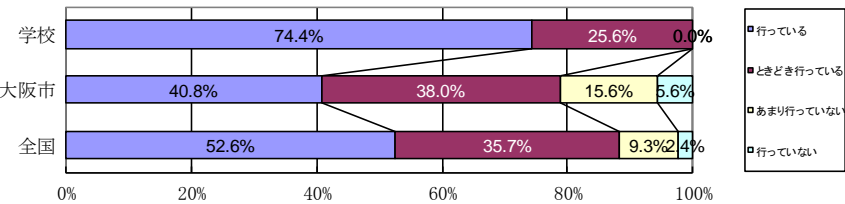
21
これまでの体育の授業で「できなかったことができるようになった」きっかけ、理由はどのようなものがありましたか



17
ふだんの保健体育の授業では、授業の始めに授業の目標（目当て・ねらい）が示されていますか。



19
ふだんの保健体育の授業では、友達と助け合ったり、役割を果たすような活動を行っていますか。



成果と課題
保健体育の授業を「楽しい」と肯定的に回答した生徒の割合が、64.1%と全国平均38.8%を大きく上回っている。このことから、とても楽しみながら授業に取り組んでいることがわかる。できなかったことができるようになったきっかけとしては、「先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」が71.8%で全国平均45.8%を大きく上回っている。授業の目標が示されているかについて肯定的回答が84.6%、友達と助け合ったり役割を果たすような活動を行っているかについて肯定的回答が74.4%と全国平均を大きく上回った。

今後の取組
このまま継続し、生徒がより一層、運動やスポーツの楽しさやできなかったことができた喜びを味わうことができるよう指導していく。また、授業の中で視聴覚教材を積極的に取り入れていくようにする。

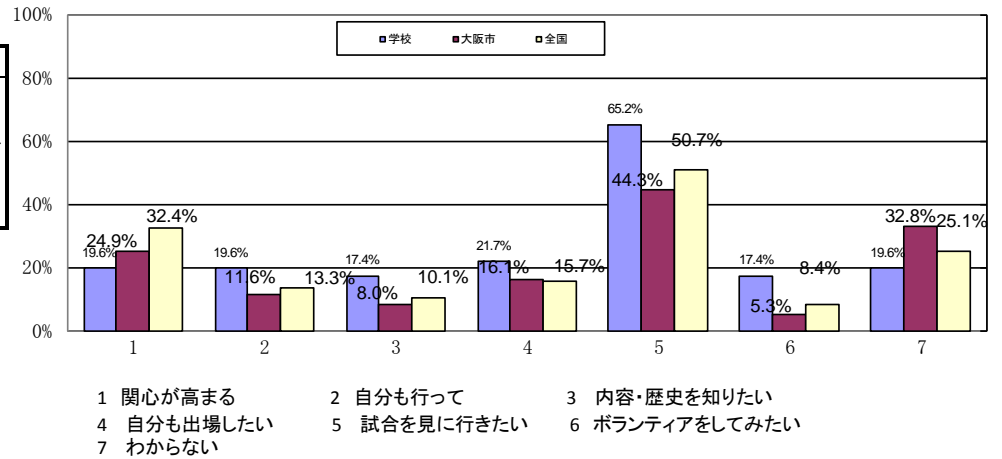
その他（男子）

質問
番号

質問事項

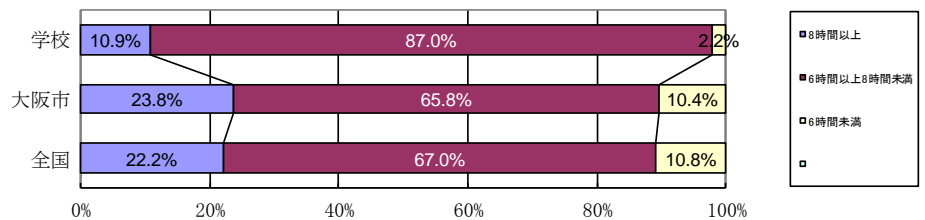
29

オリンピック・パラリンピックへの気持ち



8

毎日どのくらい寝ていますか。



成果と課題

「オリンピック・パラリンピックに自分も出場したい」と回答した生徒が21.7%と全国平均15.7%を上回っていたことから、高い目標をもって取り組もうとしていることがうかがえる。また「試合を見に行きたい」と回答した生徒の割合が65.2%と全国平均50.7%を上回っており関心の高さもうかがえる。

今後の取組

2020年東京オリンピックに向けて興味関心を高めていこう、授業を通して取り組んでいきたい。また健康的な生活を送るためにも睡眠の大切さを啓発していきたい。

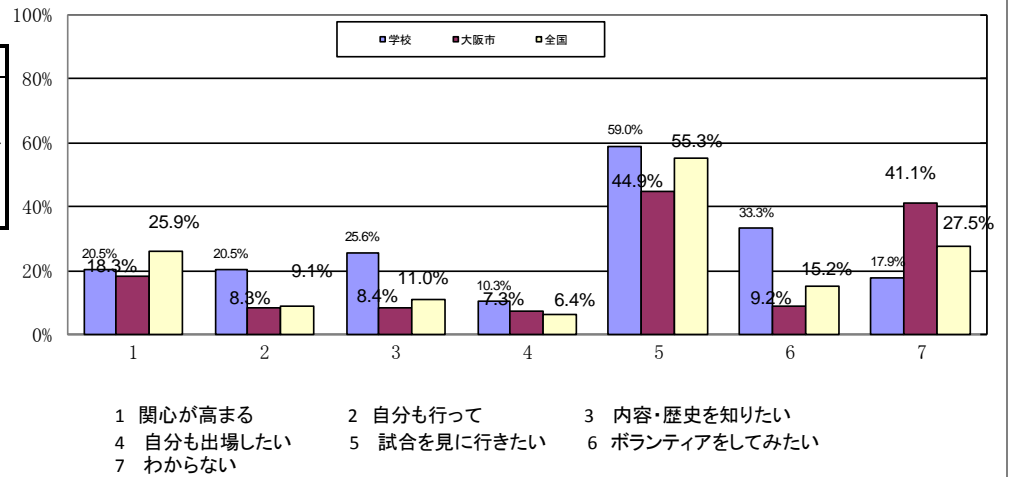
その他（女子）

質問
番号

質問事項

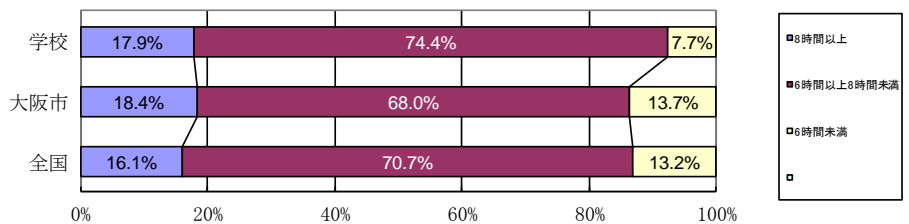
29

オリンピック・パラリンピックへの
気持ち



8

毎日どのくらい寝ていますか。



成果と課題

「オリンピック・パラリンピックへの関心が高まる」と回答した生徒の割合が20.5%とわずかながら全国平均(18.3%)を上回ったことから、競技への関心があることはうかがえる。また、「内容・歴史を知りたい」と回答した生徒の割合が25.6%と全国平均(8.4%)を大きく上回っていたことから知的好奇心の高さもうかがえる。「ボランティアをしたい」と回答した生徒の割合が33.3%と全国平均(9.2%)を大きく上回っていたことから奉仕の心がとても高いということがわかる。

今後の取組

授業を通して、オリンピックやパラリンピックの内容や歴史について深く掘り下げて学習していくようにする。また健康的な生活を送るためにも睡眠の大切さを啓発していきたい。